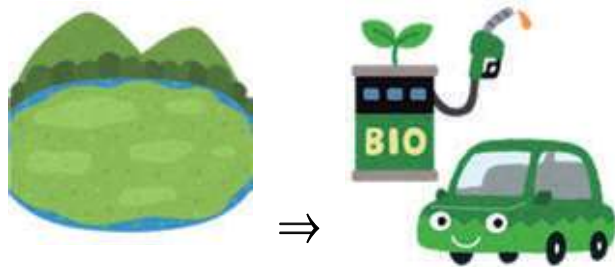


リタイヤード・シニアのつぶやき三題

松野 隆一

1) 京都大学の研究科に環境系の研究科，大学院地球環境学堂・学舎が設置されています。この研究科は，理学，工学，農学のみならず文系の研究者が参加しています。設置するにあたって，教育方針を議論する機会を持ちました。そこで，理学系の方は役に立つ研究を行うという教育は絶対にだめだと主張されました。役に立つ研究をしたいとする研究者には，その考えを，やめさせるように教育することです。2016年ノーベル・生理学賞・医学賞受賞者，大隅良典先生が主張されているとおりです。外国ではどのように考えるのでしょうか？特にMIT（マサチューセッツ工科大学）ではどのように考えるのでしょうか？

2) 地球温暖化防止に資する目的で米国イリノイ州アルゴンヌにあるNREL（National Renewable Energy Laboratory）¹⁾では藻類の持つ光合成能を利用して再生可能なディーゼルオイルを製造するという，画期的なプロジェクトに成功している。これに触発されて多くの優れた研究が続出することを期待する。
→バイオマス研究を行ったが，成果に満足できなかった者の願い。



「いらすとや」

1) 国立再生可能エネルギー研究所（The National Renewable Energy Laboratory NREL） <https://www.nrel.gov/>

3) 竹は稲科の植物です。今，上野動物園で大人気のジャイアントパンダが竹の葉を食べるのが納得できますね。



SY

Ryuichi MATSUNO

1962年 京都大学工学部化学機械学科卒業
1967年 同大学大学院工学研究科博士課程修了
1967年 京都大学工学部化学工学科助手
1968年 岡山大学工学部工業化学科助教授
1969-1970年 University College London
1970年 京都大学農学部食品工学科助教授
1984年 同教授
2000-2003年 京都大学農学部長
2005年 石川県立大学生物資源環境学部教授
2009-2013年 石川県立大学学長
2000-2002年 本学会会長
京都大学名誉教授，石川県立大学名誉教授，本会名誉会員。

E-mail: matsuno2@m2.dion.ne.jp